

< 農地・水・環境保全向上対策と連携して効果的に活動に取り組む事例 >

## 農業基盤を維持し集落を守る取組

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県山陽小野田市・平沼田			
協定面積 3.2ha	田(100%)	畑(%)	草地(%)	採草放牧地(%)
	水稲 1.2ha 大豆 1ha その他			
交付金額 67.9万円	個人配分		50%	
	共同取組活動 (50%)	役員報酬	9%	
		農地維持管理費	9%	
		水路・農道維持管理費	15%	
		体制整備に向けた活動費等	15%	
		事務費	2%	
協定参加者	農業者 7人、営農組合 1組織 水利組合 1組織			開始：平成 12 年度

### 2. 取組に至る経緯

平沼田集落は、市境に位置し、中山間地域がもつ地理的、自然条件的不利性に加え、顕著な高齢化にあって、集落を守っていくには、農業基盤と農業への意欲が良好な状態で維持され、集落に在住する皆が一致協力することが大事という認識で、第1期から本取組に参加している。

### 3. 取組の内容

任意営農組合による農作業受委託を積極的に展開している。加えて、機械等の共同購入・共同利用を実施しており、協定農用地では全ての耕作地において機械共同利用を行っている。

また、農道・水路の維持管理については、営農・水利組合組織単位で取り組んでいる。併せて中山間地域等直接支払制度の協定範囲外は、農地・水・環境保全向上対策でカバーしており、集落内の農道・水路は非常に良好な状態を保っている。農地・水・環境保全向上対策については、平成19年に「平沼田地域の環境を守る会」を結成し、平成19年4月から5年間の協定を実施している。

集落内の農用地は18haで、うち協定農用地がおよそ3.2haとなっている。集落形成戸数が15戸と担い手不足が深刻化しているが、若年の農業後継者の育成が困難な中でも、大豆や麦、そば、イタリアングラスといった作付にも挑戦している。

個人での保全が困難な圃場については、営農組合が基幹3作業を受託したり、また集落内の認定農業者に集積する等、将来の法人化への基盤とする試みを行っている。維持管理農地には、景観作物としてレンゲを作付けている。



【圃場全景】



【法面・水路補修作業】

[集落の将来像]

集積対象者を核とした農業生産活動等の体制整備  
地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための目標と活動計画]

美しい集落環境を維持する。個人で保全が困難となった場合は、担い手への集積等を検討する。

[活 動 内 容]

機械・農作業の共同化等営農組織の育成

- ・ 集落内の 100%の農地で機械の共同利用を実施

共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備（C要件・集落ぐるみ型）

- ・ 営農組合及び認定農業者が支援主体となる。

#### 4．今後の課題等

上記のとおり中山間直支、農地・水・環境保全向上対策によって農業基盤を保全し、更には竹林ボランティアによる竹材利用促進対策事業やきらめき道路サポートへの参加など各種の取組みを通じ集落のまとまりはより高まった。今後は、協定参加者をはじめ集落各戸の理解を深めつつ法人化への歩みを本格化させたい。

[第2期対策の主な成果]

機械の共同利用化（作付面積 2.2ha、100%）

耕作地の作業受委託（100%）

認定農業者の誕生（H21、1名）